

タイトル「**2023年度スポーツ科学部(公開用)**」、フォルダ「**実務経験のある教員による科目**」
シラバスの詳細は以下となります。



科目ナンバー	RMGT/SSCS1162		
科目名	教養特殊講義 2		
担当教員	福田 弥夫		
対象学年	1年,2年,3年,4年	開講学期	後期
曜日・時限	火 4		
講義室	1307	単位区分	選
授業形態	講義	単位数	2
科目大分類	総合教育		
科目中分類	総合基礎		
科目小分類	文化教養		
科目の位置付け（開発能力）	■ D Pコード：学修のゴールを示すディプロマ・ポリシー（D P）との関連 DP3-G〔状況把握力・判断力〕 自らの置かれた状況、及び自己が帰属する集団の内外の状況を的確に把握し、適切に対応することができる。 DP3-H〔論理的思考力・批判的思考力〕 理路整然とした思考を備えつつ、偏りを排除するための内省をもって、問題・課題を合理的に解決することができる。 DP7-C〔他者理解・倫理観・公共心〕 人間の行動の正誤に関する推論に正面から取り組み、社会的な存在としての自己の行動原理を獲得することができる。 ■ C Rコード：学修を通じて開発するマインドセット・ナレッジ・スキルを示すコモンルーブリック（C R）との関連 CP3-G1 状況把握(30%) CP3-H1 論理的思考(20%) CP3-H2 批判的思考(20%) CP7-C1 倫理的思考・社会認識(30%)		
教員の実務経験	国土交通省の自動運転における賠償責任に関する研究会のメンバーとして、報告書の作成等に直接関与しました。第8回、第9回、第10回の授業においてその経験を反映させて授業を行います。		
成績ターゲット区分	■成績ターゲット：能力開発の目標ステージとの対応 2 進期期 ～ 3 発展期		
科目概要・キーワード	自動車の自動運転をめぐる議論が進み、また自動運転車の実証実験が進んでいますが、自動運転とはどういうことか、そしてどのような課題を抱えているのか、あるいは諸外国での状況はどうなっているのかなどを学びます。自動運転に関する知識を学ぶ基礎的な内容の授業科目です。 授業形態は講義形式により行います。なお、対応するコンピテンツに基づき効果的な授業方法として、又は各授業を補完・代替するためオンライン授業を一部取り入れる場合があります。 キーワード：自動運転車・賠償責任・交通政策		
授業の趣旨	■副題 自動運転車についての基礎知識と自動車交通の将来について学ぶ。 ■授業の目的 自動運転の現状と課題、そして将来像を自分の言葉で語れるようになること。 ■授業のポイント ・自動運転車の基礎について理解する。 ・自動運転車の法的課題についてそのフレームワークを習得する。 ・自動運転車の現在の状況と将来の課題について自分で考える思考力を身につける。 ・自動運転車についての諸外国の状況を理解する。		

総合到達目標	・自動運転車とは何かを説明できる。 ・自動運転車の抱えている課題を説明できる。 ・自動運転車の将来の方向性について現状を分析して思考できる。	
成績評価方法	■授業参加状況（15回）25% 適用ルーブリック：C 1, G 1, H 1, H 2 （評価の観点）アクションペーパー（15%）及び授業中の課題について、理解の正確性、構成の適切さを中心に評価します。授業での発言状況も積極性の指標として評価に加味します（10%）。 （フィードバックの方法）リアクション・ペーパーや課題の提出に引き続き、コメントします。 ■レポート提出状況（3回・第5回、第10回、第15回の終了時にレポート課題を提示します）75% 適用ルーブリック：C 1, G 1, H 1, H 2 （評価の観点）テーマの妥当性、構成の論理性、理解の正確性をみます。 （フィードバックの方法）レポート課題の趣旨、要件を詳細に解説します。3回目のレポートについては、クラスルームを通じて解説をします。	
履修条件	特にありません。	
履修上の注意点	授業に積極的に参加してください。	
授業内容	回	内容
	1	①授業テーマ 自動運転車とはどのようなものか（1）（C 1, G 1, H 1, H 2） ②授業概要 自動運転車とはどのようなものかについての基礎的な知識についてを修得する。 ③予習（120分） 事前に配信する資料の中で、指示された箇所をあらかじめ読んでおく。 ④復習（120分） 第1回講義のポイントを理解しておく。
	2	①授業テーマ 自動運転車とはどのようなものか（2）（C 1, G 1, H 1, H 2） ②授業概要 自動運転車とはどのようなものであるのかについての基礎的な知識を修得する。 ③予習（120分） 事前に配信する資料の中で、指示された箇所をあらかじめ読んでおく。 ④復習（120分） 第2回講義のポイントを理解しておく。 リアクションペーパー（第1回目）
	3	①授業テーマ 自動運転車と日本の政策（1）（C 1, G 1, H 1, H 2） ②授業概要（120分） 高度情報通信ネットワーク社会推進戦略本部・官民データ活用推進会議による、官民ITS構想・ロードマップを資料として、日本におけるこれまでの取組を修得する。 ③予習（120分） 資料の中で、あらかじめ指示された箇所を読んでおく。 ④復習 官民ITS構想・ロードマップの中で、これまでの日本の取組を復習する。
	4	①授業テーマ 自動運転車と日本の政策（2）（C 1, G 1, H 1, H 2） ②授業概要 高度情報通信ネットワーク社会推進戦略本部・官民データ活用推進会議による、官民ITS構想・ロードマップを資料として、日本におけるこれまでの取組を修得する。 ③予習（120分） 資料の中で、あらかじめ指示された箇所を読んでおく。 ④復習 官民ITS構想・ロードマップの中で、これまでの日本の取組を復習する。
	5	①授業テーマ 自動運転車と日本の政策（3）（C 1, G 1, H 1, H 2） ②授業概要（120分） 高度情報通信ネットワーク社会推進戦略本部・官民データ活用推進会議による、官民ITS構想・ロードマップを資料として、日本におけるこれまでの取組を修得する。 ③予習（120分） 資料の中で、あらかじめ指示された箇所を読んでおく。 ④復習

	官民ITS想・ロードマップの中で、これまでの日本の取組を復習する。（C 1, G 1, H 1, H 2） リアクションペーパー（第2回目） レポートの提出（第1回目）
6	①授業テーマ 自動運転車に関連する政府の計画等（1）（C 1, G 1, H 1, H 2） ②授業概要（120分） 経済産業省の自動走行ビジネス検討会の報告書を資料として、自動運転車の実現に向けた取り組みを修得する。 ③予習（120分） 資料の中で、あらかじめ指示された箇所を読んでおく。 ④復習 自動走行ビジネス検討会の、これまでの検討内容を復習する。
7	①授業テーマ 自動運転車に関連する政府の計画等（2）（C 1, G 1, H 1, H 2） ②授業概要（120分） 経済産業省の自動走行ビジネス検討会の報告書を資料として、自動運転車の実現に向けた取り組みを理解する。 ③予習（120分） 資料の中で、あらかじめ指示された箇所を読んでおく。 ④復習 自動走行ビジネス検討会の、これまでの検討内容を復習する。 リアクションペーパー（第3回目）
8	①授業テーマ 自動運転車の法的課題（1）（C 1, G 1, H 1, H 2） ②授業概要 国土交通省の自動運転における損害賠償責任に関する研究会の報告書を資料として、自動運転車の抱える法的課題について修得する。 担当教員の研究会における経験を踏まえて、わかりやすく講義します。 ③予習（120分） 資料の中で、あらかじめ指示された箇所を読んでおく。 ④復習 自動運転車の賠償責任に関するこれまでの検討内容を復習する。
9	①授業テーマ 自動運転車の法的課題（2）（C 1, G 1, H 1, H 2） ②授業概要 国土交通省の自動運転における損害賠償責任に関する研究会の報告書を資料として、自動運転車の抱える法的課題について修得する。 担当教員の研究会における経験を踏まえて、わかりやすく講義します。 ③予習（120分） 資料の中で、あらかじめ指示された箇所を読んでおく。 ④復習 自動運転車の賠償責任に関するこれまでの検討内容を復習する。
10	①授業テーマ 自動運転車の法的課題（3）（C 1, G 1, H 1, H 2） ②授業概要 国土交通省の自動運転における損害賠償責任に関する研究会の報告書を資料として、自動運転車の抱える法的課題について修得する。 担当教員の研究会における経験を踏まえて、わかりやすく講義します。 ③予習（120分） 資料の中で、あらかじめ指示された箇所を読んでおく。 ④復習 自動運転車の賠償責任に関するこれまでの検討内容を復習する。 リアクションペーパー（第4回） レポート提出（第2回目）
11	①授業テーマ 自動運転車の現状（1）（C 1, G 1, H 1, H 2） ②授業概要 自動運転車が現在どのような状況にあるのかを、外国での状況も踏まえて修得する。 ③予習（120分） 2023年の段階で、自動運転車がどのようなレベルに達しているのかを、諸外国（特に北米）の状況も踏まえて修得する。

	③予習（120分） 資料の中で、あらかじめ指示された箇所を読んでおく。 ④復習（120分） 2023年の段階で、自動運転車がどのようなレベルに到達しているのかを復習する。
12	①授業テーマ 自動運転車の現状（2）（C1, G1, H1, H2） ②授業概要 自動運転車が現在どのような状況にあるのかを、外国（特にヨーロッパ）での状況も踏まえて修得する。 ③予習（120分） 2023年の段階で、自動運転車がどのようなレベルに達しているのかを、諸外国の状況も踏まえて修得する。 ④復習（120分） 資料の中で、あらかじめ指示された箇所を読んでおく。 ④復習（120分） 2023年の段階で、自動運転車がどのようなレベルに到達しているのかを復習する。
13	①①授業テーマ 自動運転車の現状（3）（C1, G1, H1, H2） ②授業概要 自動運転車が現在どのような状況にあるのかを、外国での状況（特にアジア）も踏まえて修得する。 ③予習（120分） 2023年の段階で、自動運転車がどのようなレベルに達しているのかを、諸外国の状況も踏まえて修得する。 ③予習（120分） 資料の中で、あらかじめ指示された箇所を読んでおく。 ④復習（120分） 2023年の段階で、自動運転車がどのようなレベルに到達しているのかを復習する。 リアクションペーパー（第5回目）
14	①授業テーマ 自動運転車の将来的な課題（1）（C1, G1, H1, H2） ②授業概要 完全自動運転車（レベル5）の実用化はなぜ難しいのか。その理由を修得する。 ③予習（120分） 資料の中で、あらかじめ指示された箇所を読んでおく。 ④復習（120分） 完全自動運転車の実現がなぜ難しいのか。その課題を復習する。
15	①授業テーマ 自動運転車の課題と展望（C1, G1, H1, H2） ②授業概要 完全自動運転車の実用化に向けて、自動運転車にはどのような課題があるのかを修得する。 ③予習（120分） これまでの授業の内容を確認しておく。 ④復習（120分） これまでの授業を振り返り自動運転車の課題について考える。 レポート提出（第3回目）
関連科目	特にありません
教科書	授業用の資料は、1週間前までにGoogle Class Roomにアップします。
参考書・参考URL	開講時に指示します。
連絡先・オフィスアワー	■オフィスアワー：原則：火曜日5限目（7回研究室）。あらかじめメールで予約を取ってください。 ■連絡先：fukuda.yasuo@nihon-u.ac.jp
研究比率	

